令和 8 年度　東京都内湾水生生物調査　8 月鳥類調査　速報

●実施状況

令和 8 年 8 月 3 日に鳥類調査を実施した。調査当日は中潮で、干潮が 13:35（55cm）、満潮は 7:13（187cm）であった（気象庁のデータ）。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚(東なぎさ)	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
調査時刻	10:49-12:10	12:53-13:44	8:44-9:58
調査時間(分)	81	51	74
天候	曇	曇	曇
気温(℃)	25.4	27.6	24.8
風向	北	北	北
風速（m/sec）	3.0	3.3	4.5
備考	干潟は広く干出。干潟に大きな流木が漂着していた。	最干潮前から干潟は広く干出していた。	鳥の島の西～南側はうねりが大きかった。海浜公園側に人は少なかった。

●主な出現種等

	葛西人工渚(東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
数が多かった鳥類上位 3 種	カワウ(2250 羽)	カワウ(334 羽)	カワウ(2357 羽)
	ウミネコ(512 羽)	ウミネコ(68 羽)	アオサギ(23 羽)
	ダイサギ(49 羽)	アオサギ(34 羽)	イソシギ(12 羽)
備考	・ヒクイナ、ホウロクシギ、ズグロカモメ、ウミネコ、オオセグロカモメ、チュウサギ、コサギ等、重要種として 14 種を確認。 ・シギ・チドリ類は 6 種を確認。ミヤコドリ、コチドリ、ホウロクシギ、ダイシャクシギ、イソシギが採餌、キアシシギが飛翔。 ・干潟でカワウ、カモメ類、カルガモが休息。サギ類は採餌と休息の両方が見られた。 ・ヨシ原でヒクイナの鳴き声を確認。	・メダイチドリ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ササゴイ、コサギ等、重要種として 11 種を確認。 ・シギ・チドリ類は 4 種を確認。コチドリとメダイチドリは干潟で採餌。イソシギは護岸で採餌、キアシシギは飛翔。 ・サギ類はササゴイ、アオサギ、ダイサギ、コサギを確認。ササゴイは護岸で採餌。 ・干潟でカワウとカモメ類が休息、サギ類は採餌と休息。 ・ミサゴとトビが上空を飛翔。	・ウミネコ、コサギ等、重要種として 7 種を確認。 ・カワウの個体数は第六台場 1268 羽、鳥の島 1087 羽、お台場海浜公園 2 羽、合計 2357 羽。繁殖は終了していた。 ・サギ類はアオサギ、ダイサギ、コサギを確認。第六台場での繁殖は終了していた。 ・シギ・チドリ類はイソシギ、キアシシギの 2 種を確認。護岸で主に採餌していた。 ・カルガモの親子を確認。小さいヒナ 2 羽を連れていた。 ・ミサゴとトビが上空を飛翔。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	令和8年 8月									重要種 選定基準			
				葛西人工渚(東なぎさ)			森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園				3地点合計	文化財保護法	種の[*1]保存法	環境省[*2] RL2026	東京都[*3] RDB2023(区部)
				範囲内	沖合	合計		第六台場	鳥の島	公園側	合計					
1	カモ	カモ	カルガモ	12		12				3	3	15				
2	ツル	クイナ	ヒクイナ	1		1						1			NT	CR
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	1		1						1				留
4	チドリ	ミヤコドリ	ミヤコドリ	1		1						1				VU
5		チドリ	コチドリ	2		2	1					3				CR
6			メダイチドリ				3					3		国際		VU
7		シギ	ホウロクシギ	1		1						1		国際	VU	CR
8			ダイシャクシギ	1		1						1				CR
9			イソシギ	2		2	2		6	6	12	16				VU
10			キアシシギ	6		6	1			3	3	10				VU
11		カモメ	ユリカモメ				1					1				
12			ズグロカモメ	1		1						1			VU	
13			ウミネコ	497	15	512	68			3	3	583			VU	留
14			オオセグロカモメ	41		41	1					42			EN	
15	カツオドリ	ウ	カワウ	2244	6	2250	334	1268	1087	2	2357	4941				
16	ペリカン	サギ	ササゴイ				1					1			VU	CR
17			アオサギ	41		41	34	6	17		23	98				
18			ダイサギ	49		49	14	2		2	4	67				NT
19			チュウサギ	3		3						3			NT	NT
20			コサギ	30		30	3	1		2	3	36			VU	VU
21	タカ	ミサゴ	ミサゴ				1		1		1	2				EN
22		タカ	トビ				4	2	4	2	8	12				NT
23	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	3		3	1	1		1	2	6				
計8目12科23種				18 種	2 種	18 種	15 種	6 種	5 種	9 種	11 種	23 種	0 種	2 種	8 種	16 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第8版」(日本鳥学会,2024)に従った。

*1 文化財保護法：特天=特別天然記念物

*2 種の保存法：国際=国際希少野生動植物種、国内=国内希少野生動植物種

*3 環境省 第5次レッドリスト(2026)：CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足

*4 東京都レッドデータブック2023(区部)2023年版：CR=絶滅危惧IA類、EN=絶滅危惧ⅠB類、VU=絶滅危惧Ⅱ類、NT=準絶滅危惧、DD=情報不足、留=留意種

＜葛西人工渚(東なぎさ)＞

〇調査地点の状況

干潟は広く干出していた。



西側の地点より南西方向を見る



〇出現種(シギ・チドリ類)

ミヤコドリ、コチドリ、ホウロクシギ、ダイシャクシギ、イソシギが干潟で採餌、キアシシギが干潟上空を飛翔していた。ホウロクシギは種の保存法で国際希少野生動植物種、環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。また、東京都レッドデータブックで、コチドリ、ホウロクシギ、ダイシャクシギは絶滅危惧 IA類(CR)に、ミヤコドリ、イソシギ、キアシシギは絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。


ミヤコドリ


コチドリ


ホウロクシギ


ダイシャクシギ


イソシギ

〇出現種(ズグロカモメ)

1 羽が干潟上空を飛びながら時折降下して採餌。その後、干潟に降りて休息していた。本種は環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



〇出現種(カンムリカイツブリ)

岸近くの海上を泳ぐ 1 羽が確認された。頭部に冠羽や飾り羽がみられた。本種は東京都レッドデータブックで留意種に指定されている。



〇干潟利用状況

干潟でカワウ、カモメ類、カルガモが休息していた。また、サギ類が干潟で採餌や休息を行い、護岸でも休息していた。サギ類のうち、ダイサギは東京都レッドデータブックで準絶滅危惧(NT)、チュウサギは環境省レッドリストと東京都レッドデータブックで準絶滅危惧(NT)、コサギは環境省レッドリストと東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。





〇出現種(ヒクイナ)

干潟付近のヨシ原の中から鳴き声が聞こえた。本種は環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドデータブックで絶滅危惧IA類(CR)に指定されている。

＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

最大干潮時刻で、干潟が広く干出していた。





○出現種（シギ・チドリ類）

干潟で採餌するコチドリとメダイチドリ、護岸で採餌するイソシギ、飛翔するキアシシギが確認された。メダイチドリは種の保存法で国際希少野生動植物種、東京都レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。


コチドリ


メダイチドリ


イソシギ


キアシシギ

○出現種（サギ類）

護岸で採餌するササゴイ、干潟と護岸で採餌・休息するアオサギ、干潟で採餌するダイサギとコサギが確認された。ササゴイは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）、東京都レッドデータブックで絶滅危惧IA類（CR）に指定されている。


ササゴイ


アオサギ


ダイサギ(上)とコサギ

○出現種（タカ類）

上空を飛翔するミサゴとトビが確認された。ミサゴは東京都レッドデータブックで絶滅危惧ＩＢ 類（EN）、トビは準絶滅危惧（NT）に指定されている。


トビ(上)とミサゴ

○干潟利用状況

カワウとカモメ類、アオサギの群れが干潟の高い部分で休息していた。また、浅瀬で採餌するカワウの群れを追うように、アオサギとダイサギが干潟の岸沿いを移動しながら採餌していた。ウミネコは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）、東京都レッドデータブックで留意種に、オオセグロカモメは環境省レッドリストで絶滅危惧ＩＢ類（EN）に指定されている。

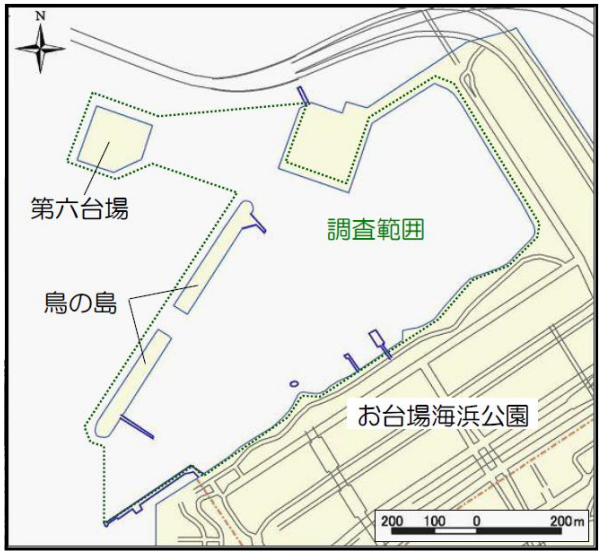

干潟で休息するカワウ（矢印）とウミネコ

＜お台場海浜公園＞

○調査地点の状況

第六台場・鳥の島では、カワウの営巣は終了していた。





○出現種（カワウ）

第六台場、鳥の島いずれも繁殖活動は終了しており、使用中の巣は見られなかった。カワウの個体数は第六台場に 1268 羽、鳥の島に 1087 羽、お台場海浜公園に 2 羽、合計 2357 羽であった。ただし、調査中にカワウの群れの移動があったため、一部重複して数えた可能性がある。第六台場や鳥の島の護岸では、巣立った幼鳥を含む大きな群れが休息していた。


カワウ幼鳥


鳥の島で休息するカワウ

○出現種（サギ類）

アオサギ、ダイサギ、コサギの 3 種が確認された。第六台場では使用中の巣は見られず、繁殖は終了していた。アオサギの幼鳥 1 羽が第六台場で確認されたが、本調査地で繁殖したものかは不明である。


枝にとまるダイサギの周辺に、サギ類の古巣（矢印）が見える

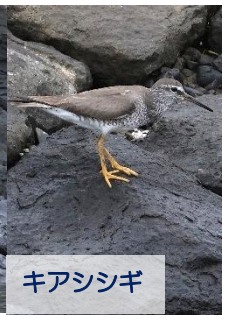

アオサギ


コサギ

○出現種（シギ・チドリ類）

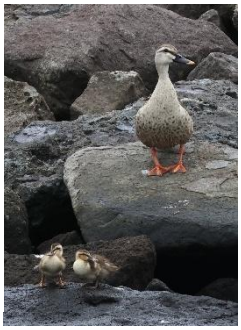
鳥の島でイソシギ、お台場海浜公園でイソシギとキアシシギが確認された。どちらも護岸を歩きながら採餌していた。


イソシギ


キアシシギ

○出現種（カルガモ）

お台場海浜公園で小さいヒナ 2 羽と親鳥が確認された。護岸で休息した後、泳いで移動した。



＜その他＞

砂町運河でウミネコの成鳥 10 羽が確認された。幼鳥や雛、使用中の巣は確認されなかったことから、今季の繁殖は終了したと考えられる。このほか、付近でアオサギ 1 羽、京葉線の高架にカワウ 217 羽がとまっているのが確認された。



ウミネコが営巣する構造物



ウミネコ成鳥

＜トピックス＞

－夏に見られるカモメ類－

今回の調査では 4 種のカモメ類（ユリカモメ、ズグロカモメ、ウミネコ、オオセグロカモメ）が確認された。このうちウミネコとオオセグロカモメの 2 種は夏の東京湾でよく見られるカモメ類である。ウミネコは夏から晩秋にかけて個体数が増加し、冬にはほとんど見られなくなる。オオセグロカモメは主に冬鳥として渡来するが、少数の若鳥が越夏するため通年観察される。一方、ユリカモメとズグロカモメは冬鳥として渡来するため、今回観察されたのは繁殖地に渡らず越夏した個体、あるいは早めに渡って来た個体と考えられる。



ユリカモメ



ウミネコ



ズグロカモメ



オオセグロカモメ